

NECキャピタルソリューショングループ 中期計画2020（2020-2022）

2020年7月30日

NECキャピタルソリューション株式会社

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

目次

1. グループビジョン実現に向けたマイルストーン
2. 中期計画2017の振り返り
3. 中期計画2020 概要
4. 中期計画2020 戦略骨子
5. 経営目標 計数

1. グループビジョン実現に向けたマイルストーン

グループビジョンは10年間で3つの中期計画を積み重ねることによって実現する

CSV経営

【当社グループビジョン】

お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー



2. 中期計画2017の振り返り 1/2

経常利益・当期純利益共に3年間の中計目標値を大きく上回り達成

(単位：億円)

【中期計画2017策定時点】	2018/3期 中期計画前提	2019/3期 当初計画	2020/3期 中期計画前提	3ヶ年累計
経常利益	75	80	85	240
親会社株主に帰属する 当期純利益	35	40	45	120
ROA	—	—	1.0%	—

【2020年4月時点】	実績	実績	実績	3ヶ年累計	中期計画比 (3ヶ年累計)
売上高	2,314	2,041	2,207	—	—
経常利益	135	89	91	314	+74
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	64	51	175	+55
ROA	1.7%	1.1%	1.1%	—	—
1株当たり年間配当金	50円	55円	60円	—	—

2. 中期計画2017の振り返り 2/2

各種施策が着実に進捗。コア領域の完成、新事業の立ち上げ、経営基盤の強化について一定の成果を得る

● コア領域の完成

- 官公・民需共に国内におけるNEC商流が拡大
- ベンダーとの協業や連携が進展、事業法人営業においても深耕・開拓が奏功し、顧客基盤拡充が進展
- Win10需要を取り込みICTサービスが大幅伸長
- リサ事業で計画を上回る高収益を確保

● 新事業の立ち上げ

- 複数地域において、エネルギー、観光、農業領域での取り組みに参画、知見やビジネスパートナーとの連携確立、プレゼンス向上
- ヘルスケア施設のウエアハウジング事業の取り組み拡大

● 事業戦略を支える経営基盤の強化

- 多様化する事業を支えるための社内体制や機能を強化

3-1. 中期計画2020 概要（位置づけ）

社会価値向上に資するサービスを確立しグループビジョンを達成する

【当社グループビジョン】

お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

強みを活かした
当社らしい
“サービス”の進化



中期計画2020

コア領域の拡充
+ 新事業収益化

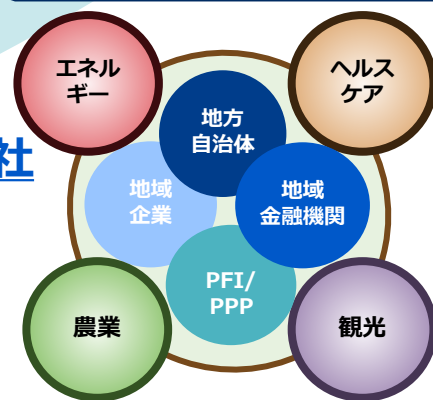
コア領域の完成
+ 新事業立ち上げ

中期計画2017

コア領域の基盤再構築
+ 「仕掛け」を構築

中期計画2014

非金融含む当社
ならではの
“新事業”の
収益化



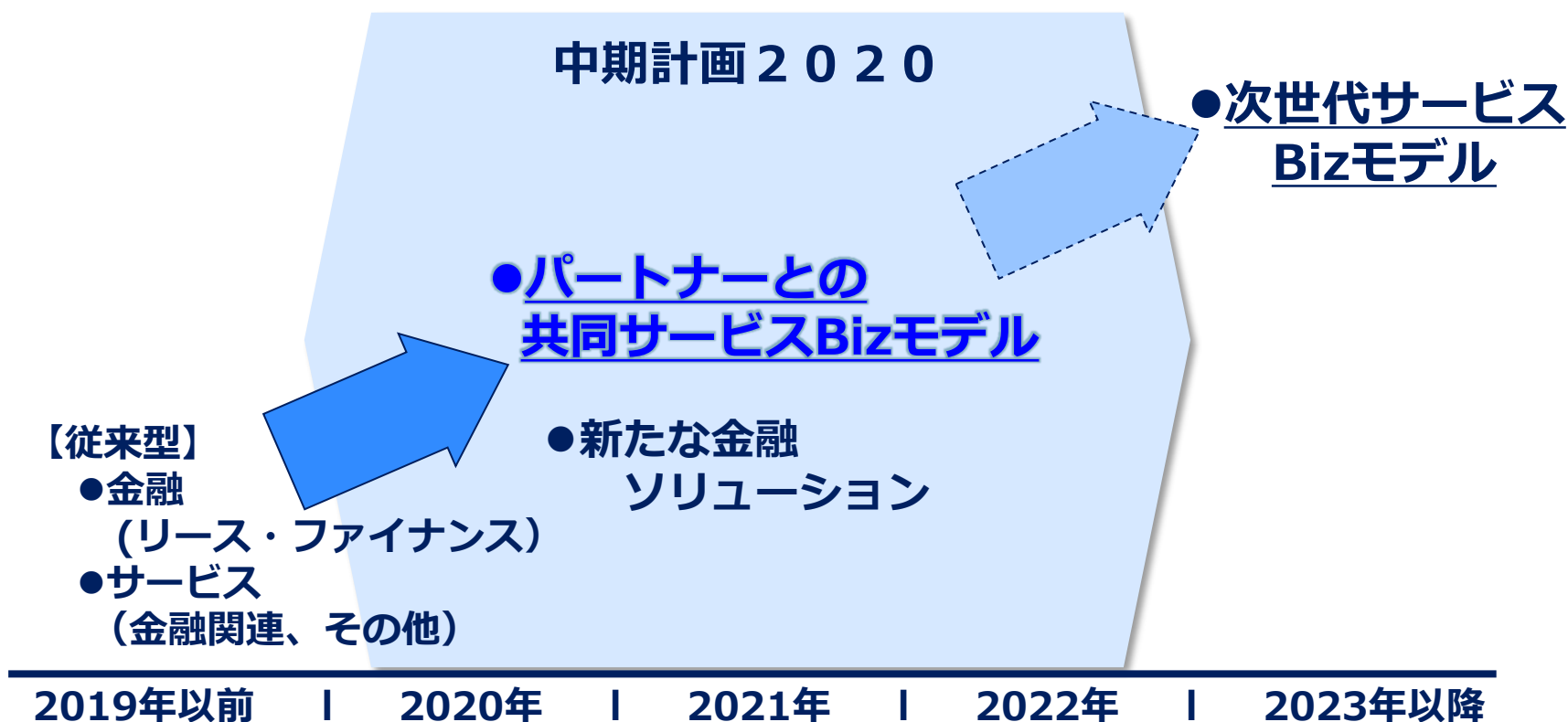
2013年

2023年

3-2. 中期計画2020 概要（目指す姿）

withコロナ & afterコロナにおいて、
新たなニーズを捉え“金融とICT”で社会の変革を先導していく

最先端のICT/DXを通じたインフラの高度化や地域社会・産業の活性化に貢献



3-3. 中期計画2020 概要（4つの社会課題とSDGs）

社会価値向上への取り組みとして大きく4つを据え、
CSV経営実現に向け取り組みを推進

当社グループの 社会価値向上への取り組み

社会・ICT インフラの整備



- 顧客のICTインフラの整備・高度化
- 生活や産業インフラの整備・高度化

地域社会・ 経済の活性化



- 顧客の創業・成長支援や資産価値向上
- 地域の課題解決や活性化・まちづくり

地球温暖化の 防止



- リース/レンタルでの循環型社会実現
- 省電力/エネ機器や再エネの普及

高齢社会への 対応



- ヘルスケア関連の設備・施設の充実化
- 後継者問題の解決や新たな雇用創出

主な社会課題

インフラ老朽化、IT陳腐化、
都市人口集中、安心・安全の
確保 等

地方創生、産業競争力向上、
事業再生・変革、新しい価値
創出 等

自然破壊、循環型社会や低炭
素社会の実現、資源枯渇、
エネルギーの安定供給 等

医療・福祉・介護の充実、
事業後継者問題、労働力人口
の減少 等

SDGs : 持続可能な開発目標

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



①「コア領域の拡充」：強みを活かした当社らしい“サービス”の進化

●ベンダーとの新たなサービスの確立

- NECグループとの戦略的パートナーシップやベンダーとの連携を強化し、ベンダーファイナンスを進化
- 新たな収益機会の獲得に向け、ベンダーと協業し、販売金融機能の提供やサービス基盤の共同開発等を通じた共同サービスの確立

●成長分野における専門事業の加速

- ビジネスパートナーとの連携強化を通じて高付加価値なサービスを提供し、ICTサービス事業、PFI・PPP事業、ベンチャーファンド事業、リサ事業などの専門事業の収益力強化

●顧客基盤の拡充と営業企画・推進機能の活用

- 営業企画機能の強化
- ソリューションの提供を通じた潜在顧客の開拓および既存顧客の深耕

②「新事業の収益化」：非金融含む当社ならではの“新事業”の収益化

●金融サービス周辺で着実に収益を獲得すると共に、ノウハウやプレゼンスを向上し、地域活性化につながる当社ならではのサービスの実現を目指す

- エネルギー：再生可能エネルギーの普及によるエネルギーの地産地消の推進や地球温暖化の防止、および当社エネルギー事業の収益拡大
 - 新電源・熱利用向け投融資
 - PPA（電力販売契約）向け投融資またはサービスの展開推進
 - 地域PPS（新電力会社）への参画および関連サービスへの参入
- 観光：地域の観光資源を活用した地域活性化推進および当社観光事業の収益拡大
 - 観光関連施設・設備及び事業者向け投融資
 - 観光ファンドの立ち上げによる管理報酬の獲得
 - 観光関連オペレータ事業への参入
- 農業：6次産業化やバリューチェーン最適化の推進による農業収入の安定化・高収益化および当社農業ビジネスの収益拡大
 - 農業関連アセットおよび農業関連法人への投融資の継続
 - 農業バリューチェーンに対する投融資やサービスの提供
- ヘルスケア：ヘルスケア施設のウェアハウジング事業の推進による関連施設の充実および当社ヘルスケア事業の収益拡大

③事業戦略を支える経営基盤の強化

●多様な働き方に対応しうる業務フローの確立、および効率的かつ高品質なオペレーションの実現

□業務プロセス

- テレワークとオフィスワークを組み合わせたハイブリットな働き方を前提とした全社的な業務プロセスの確立
- 全社的な業務改革の推進や業務品質向上を担保する「三つの防衛線」態勢確立

□ITインフラ

- 最先端ICTを有効活用し業務プロセスの高度化を加速
- 基幹システム刷新に向けた検討および計画の策定

□人材開発

- マネジメント態勢の最適化、専門人材の確保・育成、人材の適正配分、および働き方改革の実現

□スタッフ機能

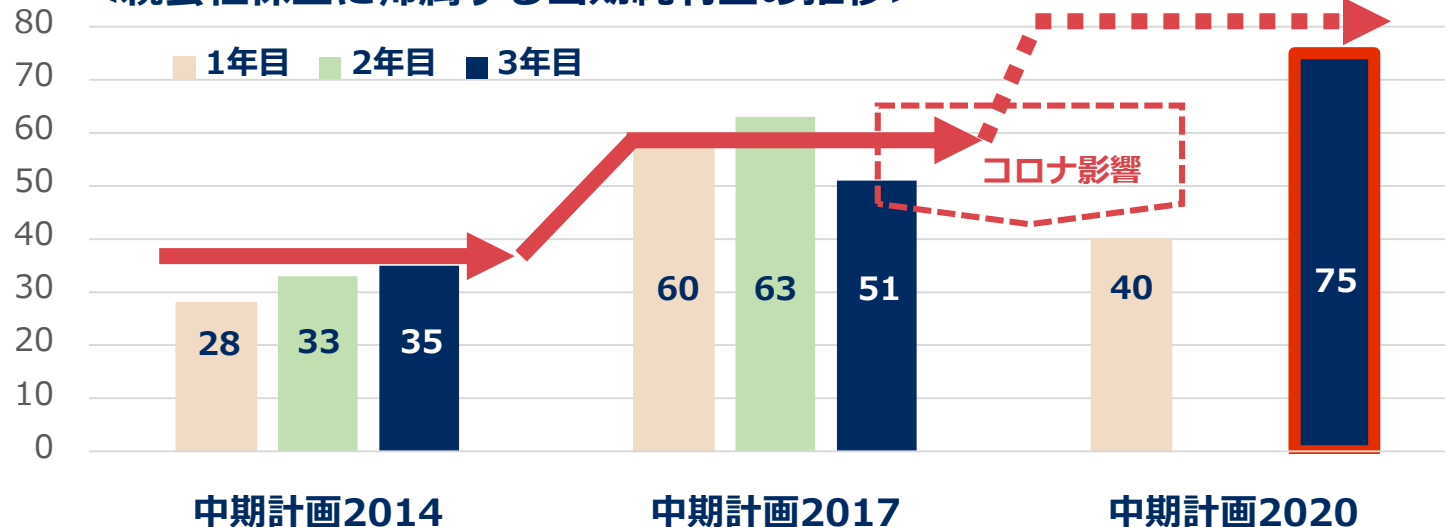
- 全社最適な専門機能の強化および営業サポート力の向上

5. 経営目標 計数

収益性を重視しながら各種取り組みの推進により過去最高益を目指す

(単位：億円)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)	2023年3月期 (中計目標)
営業利益	83	65	110
経常利益	91	65	120
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	40	75
ROA	1.1%	0.7%	1.3%

(億円) <親会社株主に帰属する当期純利益の推移>



本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン
お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

 **Orchestrating** a brighter world

NEC